

9/24(金) 10:00~15:00

地域でいいもの・いいであい ウエルシアハッピーマルシェ vol.1

利用者さんが作成した商品の販売機会を探していたNPO法人クローバーの会と、地域に開かれた薬局を目指し、様々な取り組みをされているウエルシア薬局をサポートオフィスでおつなぎし、この度ウエルシア薬局本町田店店頭でマルシェを開催することが決定しました。このマルシェには赤い屋根・ノーマライゼーションKも参加します。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。素敵な商品やスタッフが皆さんをお待ちしています！

- **開催場所**
ウエルシア薬局本町田店店頭（町田市本町田3173-1）
- **主な出展団体と販売品**
NPO法人クローバーの会（古着物で作るおしゃれな草履や小物）
赤い屋根（お豆腐で作るおやつ）
ノーマライゼーションK（手作り無添加のペットフード）

10/23(土) 13:30~16:00

まちだづくりサロン特別編 私が動く、地域が変わる～ 今見つめ直す市民活動の価値と未来

NPO法設立の立役者、山岡義典さんをお招きする特別講演会を開催します。山岡さんの講演の後は、氏の教え子であり市内でNPO法人プラナスを運営している高井大輔さん、サポートオフィススタッフ橋本空の3世代対談を実施。講演と対談を通じて、暮らし・地域・社会を豊かにする地域のパイオニアである「市民活動」の価値を見つめ直します。

- **会場**
わくわくプラザ町田（町田市森野1-1-15）
- **お申込み・詳細**
<https://machida-support.or.jp/event/salon202110/>

申込みは
こちら



地域でいいもの・いいであい
ウエルシアハッピーマルシェ
2021年9月24日(金) 10:00~15:00
@ウエルシア町田本町田店
（店舗裏手）

小雨決行！
※雨天決行の場合は、当日の朝までお天気に合わせて決行します。

出店参加団体
クローバーの会
ノーマライゼーションK
赤い屋根 など
品切れの際はご容赦願います
※次回（2021年10月22日(金)）開催予定です

【主催】NPO法人クローバーの会
【後援】町田市社会福祉協議会

【協力】ウエルシア薬局 町田本町田店
町田市地域活動サポートオフィス

△今後出店団体も増えていく予定です！出店希望の方はサポート
オフィスまでご連絡ください。

● Profile



山岡義典氏

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド理事長、
公益財団法人助成財団センター理事長。特定非営
利活動法人日本NPOセンター顧問。法政大学名誉
教授。専門は非営利組織論、都市・地域計画論。

今月のコンテンツ

団体の活動に不可欠な「活動資金」。春と秋には、助成金公募が多く行われます。今回のサポートオフィス通信は、**助成金獲得に向けたトピックスを中面で特集**しました。助成金申請を少しでも考えている団体の皆さんに知っておいて欲しいポイントと共に、助成金を受理し活動の幅を広げた2つの団体にインタビューを実施しました。ぜひご覧ください。

Now! | 「まちカフェ!」※参加団体で、 学生おうえん隊の受け入れがスタート!

「学生おうえん隊」とは、町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」に参加する団体と共に活動してみたい!という学生と、学生のパワーを活かしたい!という参加団体の皆さんをマッチングする取り組みです。今年は8団体と町田市近隣の学生の皆さん19人をマッチングし、顔合わせを行いました。今回はその中から就労移行支援事業所ハンドシェイクで行われた顔合わせ会の様子をご紹介します。

※「まちカフェ!」の詳細はこちらから ▶
<https://www.machicafe.tokyo/>



学生の皆さんと共に、 オンラインを活用した 新しいイベント企画にチャレンジ

整体業界で培ってきた知識や技術、対人スキルを障がいがある方の就労に役立ててもらい、自信を持って社会で活躍する一歩を踏み出してほしいという想いから設立された就労移行支援事業所ハンドシェイク。

3回目の参加となる今年の「まちカフェ!」では、オンラインを活用したイベントの実現に向け、学生の皆さんの力を借り、オンライン技術を学びながら企画を練っていききたいと考え、学生おうえん隊の受け入れに応募されました。

初対面で最初こそ緊張した様子でしたが、自己紹介をするうちに様々な話題が飛び出し、時間を忘れるくらいの盛り上がり。に。「まちカフェ!」でどんなイベントが行われるのか、今から楽しみです!

整骨の知識を学ぶ際に使用する骨格標本と一緒に集合写真を撮りました。標本の左側が学生おうえん隊の加藤さん、右側が中山さん。



Message



「まちカフェ!」のイベント企画実現以外に、利用者さんにもオンラインの活用方法などを教えていただくなど、学生の皆さんと共に活動することで、団体内の新たなチャレンジに繋がっています。

● 加藤春菜さん(神奈川大学)
大学の学びに地域への視点を取り入れてたく応募しました。皆さんと楽しい「まちカフェ!」にしていきたいです。

● 中山紗希さん(法政大学)
大学で福祉を学んでいるので、地域と関わりを持ちたくて応募しました。楽しみながら活動していきたいです。

ハンドシェイク
井坂友紀さんより

学生おうえん隊の
加藤春菜さん、中山紗希さんより



Pick up |

団体活動を後押しする助成金

秋は
助成金の
シーズンです！

お気軽に
ご相談ください！



喜田亮子

TOPICS

1

市民活動の多様な財源とその特徴を知りましょう

助成金ゲットだぜ！の前に、まずは財源全体のことについて考えてみましょう。市民活動の特徴の一つである「財源の多様性」。下記に主な財源とその特徴をまとめました。今一度自分たちが今力を入れるべきはどこなのかを考えてみてください。「資金」はあくまで資源の一つ。助成金申請を機に、団体にとって本当に必要なのは資金なのかをしっかりと話し合い、考えることが大切です。

	良いところ	大変なところ
会 費	仲間が増える。 使い道が自由。安定的。	1人当たりの金額は少額。 会員管理などの対応が必要。
寄 付	応援する人が増える。 使い道が比較的自由。	寄付が集まりやすい事業とそうでない事業がある。
事業収入	軌道に乗れば比較的安定的。 使い道が自由。	団体の本来の事業目的以外の対応で忙しくなる。 設備投資などがかかる。
補助金 助成金	比較的まとまった金額を得ることができる。 団体の信頼が高まる。	使途に制限があり、期間が決まっている。 報告書作成等が求められる。助成金のための新たな事業を実施することで、結果的に持ち出しになってしまうことも。
委 託	大きな金額を得ることができる。 信頼が高まる。	事業内容に制約がある。 継続することが確約されていない。
出資 融資	まとまった金額を借りることができる。 NPO等への融資を行う金融機関が増えている。	返済が必要で、利子がかかる。 審査がある。

TOPICS

2

助成金申請には、「資金」以外のメリットがあります

助成金は、比較的大きな金額を得ることができるので、活動のスタートアップやステップアップに大きな力を発揮します。助成金は、単なる「資金」ではなく、出す側と受ける側が共に社会的な目的を実現するものです。助成財団と良い出会いになれば団体活動にとって大きな力となります。下記に、助成金を通じて得られる「お金」以外の強みやその活かし方をまとめました。団体の組織力・運営力をアップする一手として、助成金を捉えてみてください。

〈 助成金の「お金」としての価値以外の強みと活かし方 〉

強み

活かし方

応募

- 団体の目的や戦略を考えるチャンス！
- 助成財団に新しい課題を気づいてもらえる
- 助成財団からの情報提供

- 自団体の目的と合致する助成金を探す
- 団体の関係者みんなで企画書を考える
- 協力者を巻き込む
- 助成財団の担当者に相談
- 説明会があれば参加

助成

- プロジェクト＝期間を意識して活動できる
- トライ＆エラーができる
- 新しい出会いが増える

- 助成金による事業であることを伝える
- 同じ助成を受けた全国の仲間とつながる
- 積極的に試す、見直す
- 成果物をまとめる
- 担当者に相談

助成後

- 信頼感が高まる
- 新しい資金源につながることも(継続助成)
- 成果を次のステップに活かせる

- 助成期間にできたつながりを継続
- 助成実績はアピールし、団体の信頼感を高める

春と秋は助成金のシーズン。特に秋は、次年度4月から実施する事業のための助成金の公募が多く実施されます。今回の特集では、助成財団で長く働いていたサポートオフィス喜田が **助成金を団体活動に活かすポイント**をお伝えします。
実際に助成金を得て活動をしている2団体の声もご紹介！団体活動にぜひお役立てください。

Interview

助成金は、団体活動にどんな変化をもたらしましたか？

助成金を受けたことで、団体の活動はどう変化したのでしょうか？
実際に助成金を得て事業を推進している2つの団体にお話を伺いました。

Interview 1

自分たちの事業を通じて、
どんな社会を実現したいのかが明確になりました

NPO法人ゆどうふ 三井泰平さん

日々現場で仕事をしていると、目の前の受益者に対する思いが良くも悪くも大きくなってしまい、ともすれば社会と隔絶した活動になってしまいがちです。助成金という、広く社会に訴える活動に向け、メンバーと共に申請書の準備をする中で、目の前で困難を抱えている受益者だけではなく、その方たちの課題を解決することが地域や社会に対して、何をもたらすことになるのか、それによってどんな社会を実現したいのかが明確になりました。
また申請書を書く際に、専門用語を使わず自分たちの活動をわかりやすく伝える必要性に気づき、訴求力のある広告作成やSNS活用にも通じる副次的な効果も生まれました。

Profile

名 称 NPO法人ゆどうふ(フリースペースふらっと)
住 所 町田市小山町2595-1
主な事業 ひきこもり等の社会的に孤立した状況にある若者や保護者へのカウンセリングや居場所の提供等を実施。昨年より地域の困りごとを若者が解決するワークを助成金を得て事業化した。
H P <http://yudofu.or.jp/>

Interview 2

事業を進めるたくさんの
応援団が生まれました

ブラインドITサポート町田 田中雅江さん

助成を受ける前は、助成する側の方は「雲の上」の存在でした。でも助成を受けてみると、活動の進捗や発展と一緒に喜んだり悩んだりしてくれ、客観的な視点を持ちながらあたたかく応援してくれる心強い存在だと気が付きました。
運用資金が少ないどうしても守りの姿勢になりますが、資金があることで、自組織の夢や目指す未来を叶えるための大胆な活動ができ、様々な人や団体と出会う機会も増えました。助成金を通じて自分たちが行っている事業を広く社会にPRできるのも魅力です。助成金申請に向けたアドバイスはサポートオフィスに力を借りました。メンバーだけではなく様々な人に相談しながら、申請の一步をぜひ踏み出してみてください。

Profile

名 称 ブラインドITサポート町田
活動拠点 町田市民フォーラムの会議室
主な事業 視覚障がいがある当事者が当事者にスマートフォンの活用法を教える教室運営を中心とした事業を実施。
H P <http://super-usuki-9372.pecori.jp/>

ONE
POINT!



ここから始めよう！

「メンバーが誰も知らないうちに助成が決まった」「毎回申請書一人で書いて疲れた」とならないように、みんなで取り組むことがポイントです。

- ✓ 自団体の目的や規模に合った助成金を探そう。
- ✓ 募集要項をしっかりと読み、助成プログラムの目的を理解しよう。
- ✓ 申請書には「やること」だけでなく「成果」を意識して書こう。
- ✓ 団体のホームページ等を更新しよう。選考の際にチェックされるかも！
- ✓ メンバーでしっかりと話し合おう。
- ✓ 独りよがりになっていないか、第三者に読んでもらおう。

問い合わせ先は
裏面に掲載
しています。

助成金を探すところからご相談に乗ります！お気軽にご相談ください。

MEMO

全国の助成金の情報を掲載しているサイトをご紹介します。公募時期やテーマなどで検索できるようになっています。

CANPAN

<https://fields.canpan.info/>
日本財団が提供する公益事業コミュニティサイト。「助成制度」というページで公益活動団体が活用できる助成制度のデータベースが掲載されています。

助成財団センター

<http://www.jfc.or.jp/>
助成金情報「データ検索」というページで助成金情報を検索できます。市民活動向けだけでなく研究助成など幅広く掲載されています。

